



火を消して不安を消してつなぐ未来  
 ~消防団観閲式にて~



愛西市

AISAI CITY  
 ASSEMBLY

# 議会だより

No.73  
 2023.8.1

6  
 月  
 定  
 例  
 会

**特集** 一般会計補正予算

市民生活・事業者を応援します ..... 2

議論の中から新発見 ..... 3

一般質問 ~市政を問う~ ..... 4

**イキイキコーナー**

第16回 立田剣心会 ..... 19

模擬議会で質問してみた ..... 20

# 市民生活・事業者を応援します

## ～エネルギー等物価高騰対策支援事業～

### エネルギー等物価高騰対策支援事業

エネルギー等物価高騰により厳しい経営環境に置かれている製造業者並びに施設園芸農業者及び畜産業者の負担軽減を図り事業継続を支援します。

6641万2千円

**Q** 支援事業者を限定した理由は。

**A** 全ての事業者がエネルギー物価高騰の影響を受けているが、中でも製造業（光熱費）、施設園芸農業者、畜産業者（肥料、飼料）に特に影響があり、この業種に限定した。

**Q** 対象事業者の件数とその支給要件は。

**A** 製造業が400件、施設園芸・畜産業は250件。要件は、施設園芸者は500㎡以上経営していること。個人

事業主、法人は事務所等が、ともに市内に住所があること。商工会未加入者でも対象とし一律10万円支援する。

**Q** 事業の周知方法は。

**A** 広報、ホームページ、SNSのほか、農協、商工会、銀行にパンフレットを置き周知する。



▲市内の施設園芸業者

### 非課税世帯への支援給付事業

急激な原油高、円安による物価高騰が市民生活に影響しており、住民税

非課税世帯への負担軽減を図るため、給付金を支給します。

1億8850万円

**Q** 対象世帯と支給金額は。

**A** 対象世帯は令和4年度の実績から、約400世帯を追加し、一世帯当たり3万円を支給する。

### 次世代を担う農業者育成のための支援事業

新規就農総合支援事業として総合支援事業費補助金と経営発展支援事業費補助金によって、新たに農業を始める人を支援します。

611万2千円

**Q** どのような人が対象で、どんな内容なのか。

**A** 49歳以下で新規に就農する人が対象。また、農業機械を導入する場合に補助を行う。

国と県、市が補助金を負担する。現在の対象は1件。

### 自主防犯活動促進事業

防犯カメラの設置及び特殊詐欺対策機器の購入に係る費用の一部を補助します。

200万円

**Q** 事業を行う経緯は。

**A** 市内で、刑法犯認知件数が前年に比べ増加し、特殊詐欺犯罪も大きく増加。以前より防犯カメラ

設置の要望もあり、新たに補助制度を創設した。

### 上水道料金免除・補助事業

昨年度に続き、物価高騰に直面する経済的負担を軽減するために上水道の基本料金を4カ月分免除します。

1億2500万円

**Q** いつから実施するのか。

**A** 本年8月からとする。

### その他の支援事業

● 保育所等給食費緊急補助事業

460万3千円

● 保育所等給食費軽減対策補助事業

1156万円

● 小中学校給食費補助事業  
給食費等支援金支給事業

1548万1千円

議論の中から  
新発見

道の駅都市公園の  
土地を購入します

道の駅周辺事業で、東  
側公園を広げるため用地  
を購入します。  
4874万円

**Q** これまでに取得した  
土地を含めた取得総面積  
と総額は。財源の内訳は。

**A** 総面積は、約3万  
7457㎡、総額は3億  
5141万9121円。  
財源は、国庫補助金、社  
会資本整備総合交付金  
と起債。

**Q** 1㎡あたり950  
0円の根拠は。

**A** 不動産鑑定評価額  
と土地価格の変動を踏ま  
え算定した。不動産評価  
は、近隣市の類似条件の  
土地3カ所の取引事例を  
参考にした。

討論

土地の取得について

賛成

本市のPRの拠点として  
必要

本市の観光拠点として  
の目的を達成するため  
に、商業的な利益を追求  
するだけではなく、市外  
への知名度向上や交流人  
口や関係人口の創出、拡  
大を期待する。新たな魅  
力を発信し、市民にもP  
Rできる施設となる。

反対

事業費が高額になっている  
本事業における開発費  
用は、当初35億円が、既に  
49億円を超え高額となっ  
ている。

公園整備では、集客に  
力点が置かれ、メインの  
花はす田が縮小される計  
画だ。また、多額の維持管  
理費がかかる。

◆◆同意◆◆

次の選任に同意しまし  
た。

■教育委員会教育長  
平尾 理氏(あま市)

■公平委員会委員  
川崎修一氏(名古屋市)

■固定資産評価審査委  
員会委員  
浅井裕久氏(二子町)

安達 清氏(西川端町)  
猪飼 明氏(金棒町)  
鈴木和己氏(早尾町)

■教育委員会委員  
杉方南衣氏(須依町)

■農業委員会委員  
浅井佐智子氏(諏訪町)

鈴木裕美氏(内佐屋町)  
鷺野則美氏(塩田町)  
佐野哲司氏(西條町)  
加賀 保氏(大井町)  
加藤文晴氏(甘村井町)  
横井清美氏(戸倉町)  
中野正広氏(四会町)

◆◆推薦◆◆

市の推薦を適任としま  
した。

■人権擁護委員  
杉方一也氏(須依町)

浅井典恵氏(勝幡町)

大橋一之氏(立田町)  
山田真弘氏(三和町)  
田中光義氏(赤目町)  
日榮隆広氏(藤ヶ瀬町)  
沖 由雄氏(大野山町)  
青木昌司氏(持中町)  
平野英治氏(山路町)

令和5年6月定例会議案審議の結果と議員の賛否

○:賛成  
●:反対

会 派	新生愛西クラブ										公明党 あいさい		日本共産党 愛西市議団		無会派		無会派		無会派	
	審議結果	近藤武	原裕司	鬼頭勝治	杉村義仁	神田康史	佐藤信男	石崎誠子	角田龍仁	中村文武	佐藤旭浩	高松幸雄	竹村仁司	河合克平	真野和久	吉川三津子	山岡幹雄	馬淵紀明	山門左門	
6月定例会議案																				
愛西市税条例の一部改正について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
土地の取得について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●
救助工作車購入契約の締結について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
令和5年度愛西市水道事業会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
愛西市教育委員会教育長の任命について	同	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
愛西市教育委員会委員の任命について	同	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
インボイス制度の実施中止を求める意見書を政府に送付することを求める請願書	不	●	●	●	議	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●

※審議結果の「可」は可決、「同」は同意、「不」は不採択です。その他の議案は全員賛成。「議」は議長のため、採決に加わっておりません。

# 市政を問う



## 14議員が一般質問

### 一般質問とは…

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます  
持ち時間は、議員1人あたり45分です。

●定例会第2日目および第3日目に、14名の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

### 6月1日

#### 佐藤 信男 議員(P5)

- ◆中央保育園と北保育園の統合後の評価は

#### 角田 龍仁 議員(P6)

- ◆佐屋北地域の避難所がなくなるのでは
- ◆防犯ボランティアに支援を

#### 竹村 仁司 議員(P7)

- ◆フットボールセンター愛西 誘致の経緯は

#### 中村 文武 議員(P8)

- ◆原っぱのような公園の必要性は
- ◆部活動地域移行の進め方

#### 近藤 武 議員(P9)

- ◆道の駅リニューアル後の名称は

#### 山岡 幹雄 議員(P10)

- ◆介護予防サポーター事業の実施は
- ◆市民ハンター制度の導入は

#### 高松 幸雄 議員(P11)

- ◆新生児聴覚と帯状疱疹 市長の考えは
- ◆本市0歳～2歳児保育料の無償化を

### 6月2日

#### 石崎 誠子 議員(P12)

- ◆人口増のまちづくりも進めるべきでは
- ◆高齢者等へのごみ出し支援を

#### 山田 門左エ門 議員(P13)

- ◆中学校を南北2校にする計画の見直しは
- ◆緊急通報システム有料化見直しは

#### 真野 和久 議員(P14)

- ◆町方町古江交差点の安全対策の状況は
- ◆学校統廃合の前提なしに地域協議を

#### 河合 克平 議員(P15)

- ◆49億円の道の駅周辺整備事業の凍結を
- ◆県道458号線の安全対策を

#### 馬淵 紀明 議員(P16)

- ◆国際大会 子ども達に経験・体験を
- ◆道の駅利用者の安全・暑さ対策を

#### 吉川 三津子 議員(P17)

- ◆学校統廃合で人口減・集落消滅 対策は

#### 原 裕司 議員(P18)

- ◆学校適正化への教育長の思いは



# 中央保育園と北保育園の 統合後の評価は

佐藤 信男議員

規模の適正化が図られた

健康子ども部長



▲統合された中央保育園

**問** 4月から統合された  
が園児数の推移は。

**答** 令和4年度79人、5  
年度115人で36人の増  
加だ。

**問** 南側に駐車場を新  
設したが利用状況は。

**答** 30台が駐車可能。現  
在においても十分スペー  
スがあり、保護者は快適  
に利用している。

**問** 教室や調理室等の  
空調設備は整備されてい

るか。

**答** 空調設備は、完備さ  
れている。

**問** 保育園のトイレ状況  
は。

**答** 令和3年度に行った  
大規模修繕で、全て洋式  
仕様とした。

**問** 特別保育事業で延  
長保育の現在の状況は。

**答** 早朝の利用者は、平  
均32人、夕方の利用者は  
平均35人だ。

**問** 紙おむつの準備や処  
理状況は。

**答** 保護者に必要枚数を  
持参してもらい、園で回  
収・処分をしている。保護  
者がおむつを持ち帰るこ  
とはしていない。

**問** 保育におけるICT  
の活用状況は。

**答** メール二斉配信シス  
テムや、出欠連絡が（ス  
マートフォンで）できる届  
出システムを導入してい  
る。

今後も保育現場に情報  
技術を取り入れながら、  
保育の質の向上を目指し  
たい。

**問** 園児の散歩を見かけ  
るが、安全対策などの  
ルールやマニュアルは、ど  
のように対応している  
か。

**答** けがの対応や緊急時  
連絡体制等を盛り込んだ  
安全計画書を作成し、職  
員間で共有している。ま  
た、事前に散歩ルートの

下見を行う。出発前には  
園児数や引率職員配置  
など職員間で確認し、帰  
園後にはマニュアルに基  
づき点検を行っている。

**問** 保育園の統合に際し  
て考慮したことは。

**答** 保護者のニーズに対  
応し開園時間を前後30  
分ずつ延長して、午前7  
時から午後7時までとし  
た。

**問** 中央保育園と北保  
育園の統合の評価と今後  
の保育園の在り方は。

**答** 子どもの数が減少す  
る中、統合により規模の  
適正化が図られた。今後  
も少子化の中で、公立民  
間を問わず、保育所が適  
切な規模で、かつ、役割を  
十分に発揮して運営でき  
るよう支援したい。

# 佐屋北地域の避難所がなくなるのでは

角田 龍仁議員

佐屋中、佐屋小など6施設ある

企画政策部長



**問** 佐屋北保育園は指定避難所になっている施設だ。何か対策は。

**答** 指定避難所としての指定は解除していない。建物の活用や取壊し等により、避難所として指定できなくなった場合には、地域に対して周知していきたい。

**問** 佐屋北保育園の建物はあと何年使用可能なのか。

**答** おおむね14年だ。

**問** 佐屋北保育園がなくなると、佐屋北地域の避難所がなくなるが。

**答** 佐屋中、佐屋小など6施設あり、想定避難者数を十分収容できる。

**問** 市役所周辺まで逃げるには、1キロ以上あるが。

**答** 学区に限った避難をすることを基本とはしていない。



▲指定避難所である旧佐屋北保育園

## 防犯ボランティアに支援を

**答** 要綱に掲げるものが対象で、審査委員会の審査を経て、補助金採択の可否が決定される。



▲青色防犯パトロールカー

**問** 青色防犯パトロールに対する補助金は。

**答** 青色防犯パトロールに対する補助制度はないが、市民活動支援公募事業補助金を紹介したい。

**問** 愛西市は1団体だが、市として増やす考えは。

**答** 防犯活動の事例紹介など情報提供を行い、相談支援に努めていきたい。

**問** この補助制度は、ガソリン代も対象になるのか。



# フットボールセンター愛西 誘致の経緯は

竹村 仁司議員

協会から拠点整備の申し出があった  
教育部長



▲フットボールセンター愛西のイメージ図

**問** 立田総合運動場に対して、愛知県フットボールセンター愛西の誘致に至った経緯は。

**答** 令和元年9月に、スポーツを楽しめる人工芝や芝生のグラウンドづくりを進めていた公益財団法人愛知県サッカー協会（以下、県サッカー協会）から、新たに西尾張地域のスポーツ施設の拠点として、本市と連携し整備したいとの申し出があり、4年1月、愛知県フツ

トボールセンター愛西に関する整備・運営事業基本協定を締結した。

**問** 今後のオープンに向けてのスケジュール、想定される年間の動員数は。

**答** 5年度中のオープンに向けて、県サッカー協会は、夜間照明のLED化や人工芝グラウンド1面、防球ネットの拡幅等の整備を予定している。年間動員数は、利用者、観戦者を合わせ、最大で

年間約12万人を見込んでいる。

**問** 県サッカー協会の運営施設となれば、多数の来訪が想定される。これまでの周辺地域との協議、理解の進め方は。

**答** 令和元年度に県サッカー協会から立田総合運動場の整備に関する協議の申し入れがあり、立田地区の住民、スポーツ協会に対して周知した。

**問** 周辺地域では、アクセスの問題が心配だ。車で名古屋市から会場に向かう時、直線で県道あま

愛西線、津島南濃線を通り、町方新田新西馬の交差点まで来る。会場に向かう選手・応援団などを乗せた車は普通車か、大型バスか。新西馬の交差点から先はバスで通るのは難しいと考えるが。

**答** 普通車や大型バスを想定している。県道津島海津線は、一部狭い区間がある。利用者には県道津島南濃線を通るルートを利用してもらえるよう、県サッカー協会と協議をしている。

2年度には、芝生多目的グラウンド整備基本計画書の概要及び県サッカー協会の概要について、3年度には、芝生グラウンド整備基本計画書の概要及び県サッカー協会との基本協定の締結について、それぞれ立田地区総代代表や早尾町総代、副総代、立田地区の住民、スポーツ協会に対して周知した。

# 原っぱのような公園の必要性は

中村 文武議員



子ども達の心身の成長の助けには不可欠  
産業建設部長



▲ボールが利用できる公園（日置町）

**問** 市内の公園数及びボールが利用できる公園数は。

**答** 公園は89カ所ある。そのうちボールが利用できる公園は4カ所。

**問** ボールが利用できるようにするための課題は。

**答** 安全性の確保ができれば、ボールを使用することは可能。ただし、高いネットフェンス等が設置されていない公園で、野球などの利用が日常的な

場合には、近隣住民等の意見をもらい、利用を制限する看板等を設置するなど、ニーズと安全性の確保の両立を目標として対応をしている。

**問** 公園を増やす、または拡張するための課題は。

**答** 今後も利用状況や地域のニーズを踏まえた上で、公園利用者や近隣住民の意見を考慮した対応を検討していく。

**問** 原っぱのような公園の必要性は。

**答** 東海広場のような公園が身近に存在することは、市民の健康促進や子ども達の心身の成長を助ける上で欠かせない。

## 部活動地域移行の進め方

**問** 中学校を放課後から19時までの開放要望もあるが可能か。

**答** 部活動で午後5時頃まで利用があり、夜間照明のある学校が2校であることから、平日の開放は考えていない。

また、名古屋市においては、主に小学校の部活動における取り組みとなるが、なごや部活動人材バンクとして指導者の募集から配置計画までを民間委託している。

**問** 今後の進め方は。

**答** 愛知県の部活動の地域移行に向けた推進計画が今年度中に策定される予定であり、県の推進計画と整合を図り、本市における推進計画の策定に取り組み、保護者への周知を行い、部活動の地域移行を進めていく。

**問** 部活動地域移行の先進地の事例は。

**答** 春日井市については、行政主導により外部指導員を配置し、年々事業費が増大している状況であり、将来的な地域移行も踏まえ検討している。





# 道の駅 リニューアル後の名称は

近藤 武議員

意見やアイデアを取り入れ検討する

産業建設部長



▲道の駅周辺整備事業 完成イメージパース

**問** 道の駅周辺整備事業の実施設計は、どのような点に注力したのか。

**答** また、基本設計時から計画の方向性を変更されたところはあるのか。

**答** 多くの方に快適に利用してもらえ、観光拠点の創設に向け、利用者のニーズに配慮した。関係機関との協議内容を踏まえた設計を行うとともに、既存の道の駅の機能を停止させることがないような計画を立てた。

**問** 基本設計時からの整備コンセプトの変更はないが、サウンドディング調査結果を踏まえ、花はす田の形状の変更や芝生広場の拡大、パーゴラ、ベンチを増設するとともに、インクルーシブ遊具を設置する予定だ。

**答** 事業の財源として、合併特例債約39億9千万円を最大限活用し、一般財源の圧縮を進めているが、合併特例債の償還

**問** 令和7年度からの新たな指定管理者の選定は、どのように進めるのか。

**答** 10年間の指定管理期間を予定。現在実施方針など詳細を検討中。令和5年7月中に市のホームページに事業概要などを示した「実施方針」を記載し、10月中に管理概要や要求水準などを示した「募集要項」を公表。11月中旬に募集受付を開始し今年度中に選定する。

**問** リニューアル後の名称を、どのように考えているのか。

**答** 「道の駅周辺整備事業」では道の駅と都市公園を一体管理することにより、市外の方々にも「素敵な道の駅のある愛西市」と容易に連想してもらえるような、本市を象徴する観光拠点を創造し、知名度の向上や来訪者の増加を目指している。

**問** 道の駅及び都市公園の名称は、「本市の魅力が伝わる」「覚えやすい」「親しみやすい」名称とする必要があるため、特に次代を担う若い人たちの意見やアイデアを取り入れつつ検討をしていく。

# 介護予防サポーター 事業の実施は

山岡 幹雄議員



役割、継続性を議論する必要がある

保険福祉部長

**問** 高齢者がいつまでも

元気で生き生きと生活ができる目的で介護予防サポーター事業等が全国で行っている。この事業の実施の考えはないか。

**答** 介護予防サポーター事業は、地域で実施している介護予防事業の補助スタッフとしてボランティア活動することで、介護予防の知識・技術を習得し、地域でのリーダー的役割を担う活動ができる人材の発掘、取り組みを目指すものだ。

高齢者が介護予防サポーターとして地域の高齢者支援事業に参加することで、サポーター自身が介護予防と生きがいにつながることに期待できる。

サポーターを養成、活用するには、位置づけ・役割・継続性を議論する必要がある、今後の課題と考える。

**問** ボランティアポイント制度を34・1%、593

市町村が実施している。通いの場づくりの担い

手の確保や参加を推進する目的で介護予防に資する取り組みへの参加ボランティア等へポイントの付与を行い、3千円の商品券がもらえる自治体もある、この制度を行なう市長の考えは。

**答** 必要なサービスを必要な方々に提供できることは市としても必要だ。協力してもらえらる方の状況等をしっかりと把握しながら研究していく。

市民ハンター制度の導入は

**問** 市の有害鳥獣の被害

状況とその対策は。

**答** 令和4年度の被害状況は、被害面積5千㎡、被害量1041kg、被害金額23万9千円だ。対策として愛西市猟友会に駆除を依頼し、農作物の被害防止を図っている。

**問** 狩猟免許はなくても

特定外来種のアライグマを捕獲できる市民ハンター制度を導入した自治体があるが市長の考えは。

**答** 今後研究し、導入できるものであれば、導入することも一つではないか。



▲捕獲する装置



# 新生児聴覚と帯状疱疹 市長の考えは

高松 幸雄 議員

助成・補助を早急に進めていきたい

市長



▲神奈川県健康増進課リーフレットより

**問** 生まれつき音を聞くことが困難な難聴児は、千人に1人から2人いる。愛知県における新生児聴覚検査の費用を助成している自治体の状況は。

**答** 令和5年4月現在、県内54市町村のうち51市町村において助成を実施している。

**問** 助成を実施していない3つの市町村はどこか。

**答** 本市のほか、弥富市、東郷町だ。

**問** 市町村には地方交付税の措置がされているが、新生児聴覚検査の費用を助成する考えは。

**答** 実施に向けて進めていきたい。

**問** 带状疱疹のワクチン接種の助成についても本市議会でも国に意見書を提出した。近隣市町村も助成を決める傾向にあり、本市でも助成をすべきと考えるが。

**答** 国が率先して補助をしていくべきだと考えているが、このまま何もせずというわけにもいかない。近隣自治体の状況もかなり変わってきているので、市として補助制度の導入について早急に進めていきたい。

**本市0歳～2歳児保育料の無償化を**

**問** 本市が0歳～2歳児の保育料を無償化した場合の費用は。

**答** 約8千万円必要。

**問** 本市の考えは。

**答** 0歳～2歳児の保育料は国基準の半額以下にして他市よりも低い金額を設定している。副食費補助を市独自に行うなど、切れ目のない支援を実施している。子育てをするなら愛西市と云ってもらえるよう、今後取り組んでいきたい。

**問** 本市における0歳～2歳児保育料の現状と近隣自治体の状況は。

**答** 近隣市で保育料の最高額を比較した場合、本市は3万7700円、津島市は5万2千円、あま市は4万8千円、弥富市は4万5500円、稲沢市は5万2千円となり、本市が最も安い。

## その他の質問

- 愛西市権利擁護支援センターの役割
- 子どもの弱視早期発見を

# 人口増のまちづくりも 進めるべきでは

石崎 誠子議員

効率的な市街地整備を目指す

企画政策部長



▲愛西市立小中学校適正規模等並びに  
老朽化対策基本計画素案

**問** 5月1日に永和学区の方々から「永和地区から中学校をなくす計画案の見直しを求める嘆願書」が市に提出されたが、その対応は。

**答** 基本計画素案には、永和中学校は、過小規模校となるまでに佐屋・立田統合中学校へ追統合するという内容は含まれていないことや、協議会案に、過小規模校になると見込まれる5年前までを目途に追統合の検討を開始すると記されている件は、現時点での決定事項ではないことも、あわせて伝えた。

**問** 今後、永和中学校は存続できるのか。また、小中一貫校として検討できないか。

**答** 永和中学校と永和小学校は、現時点において1学年1クラスという状況はなく、今後、一定の学校規模が維持できるところが見込まれば、必ずしも適正化をしないといけないわけではない。

**問** 人口が増えるようなまちづくりも同時に進めていくべきではないか。永和学区は高速のインターからも近く、JR永和駅や近鉄富吉駅があり、電車に乗れば15分程度で名古屋駅まで行けるような立地だ。これから対策を行えば、まだまだ人口が増える要素は十分あると考えるが。

**答** 人口減少、少子高齢化の到来を踏まえ、市内の鉄道駅を中心とした既成市街地周辺において、土地所有者や地元との合意形成の状況等を踏まえ、今後、優先すべき拠点の候補地を選定し、効率的な市街地整備を目指す。

**問** 歩行や重いものを持つことが難しくなり、集積所まで持つて行けないなど、高齢者等のごみ出しが困難な状況にある世帯への支援を、国からの交付金を活用し、支援の仕組みを構築しては。こうした現状をどう捉え、いつまでに、どう取り組んでいくのか。

**答** 高齢者や障がい者など、ごみ出しに困難を抱えている方々に対して、本人、家族、地域コミュニティ、福祉事業者及び行政と協議し、連携した体制整備づくりなどを引き続き行っていきたい。

高齢者等への  
ごみ出し支援を



# 中学校を南北2校にする計画の見直しは

山田 門左工門議員

環境の変化で方針を見直す必要性もある  
教育部長



▲将来、追統合が予測される永和中学校

**問** 将来、中学校を南北2校に集約する協議会案を見直す考えは。

**答** あくまで将来像であり、中学校が単学級学年が生じると見込まれたタイミングで、検討を開始する。近年、学校教育を取り巻く環境が大きく変化しており、基本方針を見直す必要性も出てきている。

**問** 協議会案では、八開地区の3分の1しか賛同

を得られていない。永和地区は、中学校を残してほしいと嘆願書が出された。立田地区でも佐屋中

に行きたくないという声が多い。丁寧な説明をしないために反対運動が起きている。今後、住民との合意形成を、どのように進めるか。

**答** 永和中学校が過小規模校になると見込まれる5年前までを目途に、検討を開始する必要性を指摘したもので、現時点の

決定ではない。今後、未就学児や小学生の保護者を対象に座談会を開催する。

**問** 昨年、総務文教委員会で三重県志摩市を視察したが、独自に学校再編の基本的な考え方を作つてから着手している。合併した旧町には必ず中学校を残す。1学級21人未満が見込まれたら再編の対象にする、などのルールを作っている。本市独自のルールを作る考えはどうか。

**答** 新たなルールを作る考えはない。

**問** 地区検討協議会では成果も得られずに終わった。住民には、学区の編成、通学時間、距離、通学方法、小学校の適性について検討を文書配布している。再開する計画は。

**答** 教育委員会と庁内に設置するプロジェクトチームで協議する。

緊急通報システム  
有料化見直しは

**問** 高齢者見守り事業の緊急通報システムが来年度より有料化するとのことだが、収入に応じた負担の考えは。また近隣の状況は。

**答** 無料は、あま市、大治町、飛島村、稲沢市。所得に応じた負担は津島市、弥富市、蟹江町になる。本市は一律負担をお願いする。

**問** もし津島市と同じ負担方法ならどうなるか。

**答** 利用者負担なしの割合を津島市と同じ91%で試算すると、813万円が本市の負担となる。

# 町方町古江交差点の安全対策の状況は

真野 和久議員



もう一度待機場所の確保をお願いする

企画政策部長

**問** 通学路3カ所の安全確保について尋ねる。

町方町古江の交差点について、信号待ちで児童が退避する場所が大変狭く、中学生・高校生の自転車の退避する場所もない。これまで何度か質問し、改善を求めてきた。土地購入などの検討も進んでいない。取り組み状況は。

**答** 用地の確保を試みたが、協力を得られなかった。しかし、通学路合同点

検結果で要望もあり、待機場所を確保したい。教育委員会として、市

土木課の協力を得て、町方町と草平町総代にも安全対策が必要である旨を説明し、土地所有者に交差点改良の必要性の説明と協力をお願いする準備を進めている。

**問** 西川端橋の北の横断歩道について、交通量が多く、横断歩道は橋のすぐ北側で、橋の番上でも

見えない。押しボタン式の信号を設置したり、交通指導員などの配置ができないか。

**答** 「学童横断注意」などの路面標示に加え、横断歩道の指示標識が片持式で車道部の上方に設置され、一定の安全が確保されている。指導員の配置は考えていない。今後、地域からの要望があれば、県や警察へしっかりと伝えていきたい。

きたい。

学校統廃合の前提なしに地域協議を

**問** 小規模特認校など、魅力ある学校をつくる。

長野県伊那市の伊那西小学校では、ICTと森を使った特色ある教育で地域以外からの生徒も増えている。立田・八開地区での統合について、反対の意見が多い、わからないという人が多い状況だ。統廃合を前提としない話し合いが大事では。

**答** 子どもに様々な経験をさせてやりたい。発達段階に応じた対応が必要。あまりにも少ない小学校についても、議論をしていかなければいけない。



西川端橋北横断歩道



町方町古江交差点



草平小学校北カーブの変形五叉路

▲取り上げた交通安全上の危険箇所

**答** 県に確認したが、現時点では具体的な計画はない。今後、地元からの要望があれば、愛知県や警察へしっかりと伝えてい



# 49億円の道の駅周辺整備事業の凍結を

河合 克平議員

計画に基づき事業を遂行する

産業建設部長

質問

- ①各種団体への補助金の削減。  
コミュニティ連絡協議会や老人会・婦人会・子供会・廃品回収の補助金の削減。行政事務委託料の値下。廃品回収の補助金の削減。行政事務委託料の値下
- ②学校教育の削減  
放課後子ども教室の廃止。各種の学校教育補助金の削減。卒業の記念品の贈呈を一つに削減。卒業記念品の印鑑を黒水牛からつけ印に変更。キャンプの補助金の廃止。修学旅行の補助金を削減。
- ③福祉分野の削減  
布団洗濯乾燥サービスの縮小。75歳以上の非課税一人ぐらい高齢者の医療費無料の新規受付中止。在宅障害者扶助の65才以上の新規受付の禁止。乳がん検診布事業の廃止。緊急通報システムの電話代負担の廃止・有料化。家庭介護用品介保おもつ代の支給縮小。3人目の出産祝金の廃止。精神障害者3級医療費の全疾病から精神疾病への無料化の縮小。高齢者福祉施策の対象年齢を65才から75才へ引上。自立支援施設利用料補助の廃止。
- ④市民の負担増  
施設の使用料の値上 2000万円。学校給食費の値上2回 2000万円。愛西市水道料の値上2回 2000万円。保育料の15%の値上3000万円
- ⑤公共施設の廃止民営化  
庁舎統合計画により、佐藤、立田、八間の旧庁舎の縮小・廃止。佐屋北保育園の廃止。永和保育園の廃止・民営化。福原分校・農業環境改善センター・立田社会福祉会館・立田図書館の廃止。佐屋プールの廃止。立田総合運動場・愛西の里の廃止、民間に委託。

▲行政改革で削られた住民サービス

**問** 49億円をかけて道の駅周辺整備を今行うべきなのかどうか疑問が5点ある。

1点目は、整備費用が高額になり、14億円も事業費が拡大をしていることは、基本構想や基本設計に問題はないのか。4億円の一般財源の負担は、1年で1億円ほどになり返済も始まる。  
2点目は、完成後の財政支出が不明である。  
3点目は、駐車場の課

題があり、渋滞回避の迂回路の課題が解決していない。

4点目は、1人当たり都市公園等面積は、8・87㎡で、54自治体中15位なので比較的充足している。  
5点目は、行政改革の名のもと、各種団体の補助金の削減、学校教育補助金の削減や布団乾燥サービスの縮減、庁舎統合計画による庁舎の縮小、佐屋北保育園の廃止、

遂行する。

**答** 観光拠点を創設し、地域価値の向上を目指すため計画に基づき事業を

75歳以上の非課税ひとり暮らしの高齢者の医療費無料の新規受付中止、施設使用料の値上げ2千万円、学校給食の値上げ2回2千万円など、様々な住民サービスが削減された。  
以上の5点の理由で49億円の道の駅の計画は一旦凍結すべきでは。

**問** 議会で求めた歩道が実現したが、安全対策は。  
**答** 「幅員減少」の予告看板を設置する。

県道458号線の安全対策を



▲県道458号線（一宮弥富線）の歩道設置

# 国際大会 子ども達に経験・体験を

馬淵 紀明議員

大きなチャンスPRをしなければ

教育長



▲アジア競技大会の周知チラシ

**問** スポーツ大会やイベントを行うことについて市の考え方は。

**答** 市民の誰もが、それぞれの能力や体力、状況に応じて、気軽にスポーツを楽しみ、継続的にスポーツ活動ができる機会として、定期的開催していきたい。

また、令和8年には長良川国際レガッタコースでアジア競技大会が開催される。市外やアジア諸国の方が参加するので、周知活動の充実を図る等、大会を盛り上げていきたい。

**問** 市の活性化や交流人口、関係人口の拡大につなげていくためにも、市内外から参加者が訪れる新たなスポーツ大会やスポーツイベントを企画してはどうか。市の見解は。

**答** 木曽三川公園リレーマラソンは、4年度をもって大会が終了した。それに代わる新たなスポーツイベントを5年11月頃に開催予定だ。

**問** アジア競技大会は、以前から期待しているが、

国際大会を見る機会やトップアスリートと出会うチャンスがあると思う。子ども達にそういった経験・体験をしてほしいが、教育長の考えは。

**答** 大きなチャンスなので、子ども達をはじめ、市民も含めてPRをしなければと思っている。

## 道の駅利用者の安全・暑さ対策は

**問** 出入口等の安全対策は。

**答** 道の駅及び都市公園の出入口をそれぞれ複数箇所設けることで、公園利用者にとってスムーズとなり、駐車場の安全性の確保及び渋滞の緩和に努めたいと考えている。

**問** 指定管理募集要項に、利用者の安全対策やパーゴラの増設などの暑さ対策を含めることは可能か。

**答** 募集要項などを整理する中で組み込んでいくことを考えている。

**問** 道の駅周辺整備事業では、夏の暑さ対策をどのように考えているのか。

**答** 令和4年11月に実施したサウンディング調査で、日陰が少ないという意見があり、日陰面積を増やすためパーゴラを追加する計画とした。また、東ゾーンには高木の落葉針葉樹を植樹する予定。夏場には日陰ができ、冬には落葉して日光が公園に届くような設計とした。



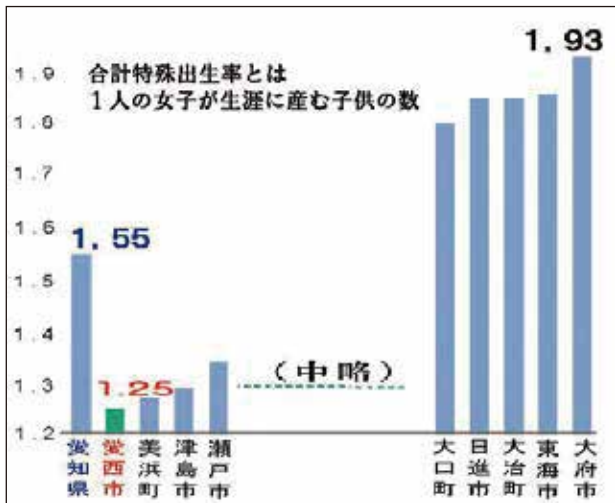


# 学校統廃合で人口減・集落消滅 対策は

吉川 三津子議員

4地区ごとの事業展開が必要だ

市長



▲愛西市は「合計特殊出生率」が県下最低

**問** 学校統廃合は、さらに人口減少や、既存集落の存続を危うくする。

立田・八開地区からは、「名古屋から約30分という地理的条件でありながら、数年後には集落に人がいなくなるところがある」という声がある。また、永和地区からは、「若者に人気のある近鉄沿線(富吉駅)でありながら、人口政策も打たれず、なぜ永和が佐屋中に統合されなければならないのか」

という声が上がっている。

**問** 小学校区ごとの人口や世帯数、転入転出がどの地区でどの年代で多いのか等のデータはあるのか。また、その原因分析はされているのか。

**答** 小学校区ごとのデータ、調査・分析はしていない。

**問** 愛西市は、合計特殊出生率が、県下ワースト1だ(左)。子どもが生まれていない、転出も抑え

切れていない、合併後、ずっと政策がうたれていない。まずは、正確なデータ蓄積をすべきでは。

**答** 公開情報の充実に向け検討する。

**問** 立田・八開地区の人口減少対策として、国交省に、住生活基本計画の引き書があり助成の制度がある。

市長は、取り組みの必要性をどう考えるか。

**答** 立田・八開地区は平成12年、佐屋地区は平成17年、佐織地区は平成22年から人口減少が始まった。4地区別の事業展開を考える必要がある。

**問** 富吉駅は、名古屋まで15分で人口増加の可能性がある。駅周辺への人口増の取り組みは。

**答** 市内8駅の中から、市街地整備を進める拠点を選定していく。

**問** 選定されないことも考え、平行して区画整理などを進める考えは。

**答** まずは、8駅を調べて選定することからはじめよう。

**問** 統廃合の地域合意が得られず、小規模校の希望が拳がった場合、その声を聞くのか。

**答** 市民への周知が足りないが、適正化の必要性について周知を徹底する。小規模校の要望は、基本計画の中に教育委員会の考えを盛り込んで、周知していく。

# 学校適正化への 教育長の思いは

原 裕司議員



社会人としての資質を育むために必要

教育長

## 立田地区・検討協議会

過小規模中学校、小規模中学校に対する適正化(学校統合)について、あなたの考えに最も近い番号を1つ選び○を囲んでください。

問	人数	率(%)
①よく理解できるし、賛成	35	11%
②課題があるが、概ね賛成	116	36%
③今の段階では、判断ができない	97	30%
④理解できるが、反対	41	13%
⑤課題が多いため、反対	33	10%
計	322	100%

▲地区協議会アンケート調査結果を抜粋

**問** 小規模中学校のデメリットは。

**答** 「学習・生活面」では、進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある。集団の中で自己主張や他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が付きにくい。グループワーク等のアクティブラーニングの効果的な実践が困難になる。「学校運営面」では、教員ごとの専任科目の教職員

の人数が不足する。

**問** 津島高等学校・清林館高等学校において、中高貫校が導入される。

**答** その概要と愛西市の教育環境への影響は、津島高等学校の中学校は、定員80人で2クラス、清林館高等学校の中学校は、定員70名で2クラス。各高校の本市出身者と生徒数の割合や位置などを考慮すると一定数の進学が予想される。

**問** 学校規模の適正化を「今」進めることで、どんな効果を期待するのか。

**答** 「教科専門の正規教員を配置できる」「効果的な学びの展開が期待できる」「社会性を育む機会を設けることができる」「ついて大きな効果が期待できると考える。

**答** 広報や回覧、ホームページ、SNS等により積極的に周知を図る。児童生徒の保護者に対しては、学校経由で知らせる。

**問** 適正化への教育長の思いは。

**答** 中学校3年間は、心身の発達が著しく、人格形成上極めて大切な時期、子離れ親離れの時期だ。また、学校では専門的な基礎知識を学び始める時期でもある。学校教育の本来の目的は、単に学力を伸ばすだけでなく立派な社会人としての資質を育むことだ。

そのためには、一定規模の生徒数が必要である。これまでの意見を参考に、中学校の規模適正化と老朽化対策を柱に据えて進めていく。

**問** 各地区協議会での議論の内容やアンケート結果等が市民に伝わっていない。分かりやすい情報発信をする考えは。

# イキイキコーナー

## 第16回 立田剣心会

練習場所は 立田総合体育館  
(武道場)

練習日時は 火曜日(19時~21時)  
土曜日(17時~20時)

部員数は 21名(男子15名 女子6名)

指導者数は 8名

指導者から一言

剣道を通じて礼儀や挨拶がしっかりでき、  
元気よく自分の意思表示ができるように  
なってほしいと思っています。

保護者から一言

礼儀作法を学んで自分に厳しく  
心身共に成長してほしい。

剣道の魅力、  
学んだこと  
の礼儀 我慢強くなった  
体力・集中力がついた

剣道の楽しいところ

試合で勝ったとき  
技が上手に出せたとき

入部の動機は

友達に誘われた  
姉やお父さんがやっていたから  
やっている人たちがカッコよくて  
自分もやりたくなった

### 第42回錬成大会(令和5年)

優勝 小学校4年生  
中学校3年生(男子)  
高校生(女子)

開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「愛西市議会だより」にするため、写真掲載とコメントを募集します。

小中高生などを対象としたサークル活動・  
スポーツ団体などで、活動内容を撮影した  
写真と活動内容に対するコメント。

お問い合わせ・  
送付先

愛西市議会広報特別委員会(市議会事務局)  
〈住所〉〒496-8555愛西市稲葉町米野308番地 〈電話〉0567-55-7141  
〈ファックス〉0567-26-7141 〈メール〉gikai@city.aisai.lg.jp

佐屋西小議会見学

# 模擬議会で質問してみた

5月16日、佐屋西小学校の6年生が、議会見学に来ました。議場を使って、模擬議会を行いました。児童が議長を務め、議席から質問を行いました。



議長役

質問を許可します。

議会はどのように話し合いを進めているのですか？



議員役1

最近はどんな問題について話し合っていますか？



議員役2



## 令和5年9月定例会の開催予定

9月 4日(月)	本会議(招集日)議案上程
9月 7日(木)	本会議(第2日)一般質問
9月 8日(金)	本会議(第3日)一般質問
9月13日(水)	本会議(第4日)議案質疑
9月15日(金)	総務文教委員会
9月20日(水)	建設福祉委員会
9月22日(金)	決算特別委員会
9月27日(水)	本会議(最終日)討論・表決

### クローバーTV放映日時(チャンネル121)

- 9月11日(月)午前10時～・午後7時～
- 9月12日(火)午前10時～・午後7時～

- 本会議・委員会は午前9時30分(決算特別委員会は午前9時)から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

物価高騰が続くなか、今議会では多くの対策が盛り込まれた一般会計補正予算を全員賛成で可決しました。

さて、新しい広報委員になり、1年が過ぎました。委員で議論し、余白を少なくする事や、写真を多くする事など、改善しましたが、まだまだ、読みづらい所も多いかと思えます。

政治離れが進む若者にも読んでいただくためには動画や二次元バーコードの活用も検討する必要があります。

今後も議論・工夫を重ね、取り組んでいきます。

(中村文武記)

委員	委員長	委員	委員
佐藤 旭浩	山田門左門	高松 幸雄	原 裕司
中村 文武	山田門左門	高松 幸雄	原 裕司
佐藤 旭浩	山田門左門	高松 幸雄	原 裕司